

教科横断型授業「現代文」×「数学B」 学習指導案

SDGsでの課題		SDGsの番号（4番）「質の高い教育をみんなに」			
実社会での課題		グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、高度化・複雑化する諸課題への対応が必要であり、学校教育において、求められる人材育成像の変化への対応が必要である。そのため、児童生徒に対して、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加えて、思考力・判断力・表現力の育成や学習意欲の向上が学校現場で求められている。			
生徒に身に付けさせたい資質・能力		知識の暗記や受け身の学習をするのではなく、自ら考え、課題に対して疑問を持ち、自分なりの思考によって結論を導く能力。そしてそれを表現する能力。			
主題（教材）		数学的帰納法は帰納法なのか ーもしかして演繹法では？ー			
指 導 過 程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等	
	導 入	数学的帰納法を用いた命題の証明方法について理解する。	10	○ 具体例や図を用いることで証明の流れを正確にイメージさせる。	○生徒用端末 ○パワーポイント
	展 開	1 帰納と演繹について学習する。	10	○ 具体例を用いることで、帰納と演繹の意味をきちんと理解させる。	○生徒用端末 ○パワーポイント
		2 再度、数学的帰納法を用いた証明問題を考える。	10	○ 数学の問題を解くことで、帰納的に証明できていることを確認させる。	
		3 数学的帰納法は帰納法なのか、演繹法なのか、考える。	10	○ 数学的帰納法は見方を工夫すれば演繹法と見ることができると理解させる。 ○ 数学の考え方は演繹法であると認識させる。	
整 理	学習内容を確認する。	10	○ 知識を暗記することや、受け身の学習方法では、十分な教養を身に付けることができないことを理解させる。 ○ 深く学習することの楽しさを体感させる。	○生徒用端末 ○パワーポイント	
備 考					